



HANDS-ON GUIDE / ハンズオンガイド

機電系トラック Day1 ハンズオンガイド

AI協働開発ハンズオン講座 機電系トラック Day1

AI協働開発ハンズオン講座の1日目に、ご自身の手元で開いて使う資料です。当日の演習手順、できたかどうかの確かめ方、詰まったときの戻し方をまとめてあります。投影スライドは先に進んでしまうので、手が止まったときはこの資料に戻ってきてください。

この日にすること

今日のゴールは、ご自身のPCでGitHub Copilotが動く状態を作ることです。VSCodeでサインインし、日本語で話しかけて返事が返るところまでを全員で確認します。

達成できたかは、次の4つでご自身で判定できます。4つ全部を完璧にする必要はありません。1つ目が今日の山です。

判定の観点	判定できる状態
環境が動く	VSCodeの左下に自分のGitHubユーザー名が出て、チャット欄から日本語の返事が返る
生成AIの輪郭	午前の最後のクイズに迷わず答えられる
守る線がわかる	午後のクイズで、客先の固有情報が入った相談文を選ばずに済む
触った実感	午後の演習で作った画面が、自分のブラウザで動く

1日の流れ

区分	内容	時間
午前	環境セットアップ、GitHubアカウント作成、Copilot招待と動作確認	[110min]
午前	休憩	[10min]
午前	生成AIの基本	[60min]
午後	リスク・リテラシー・ガバナンスと機密情報の取扱い	[70min]
午後	休憩	[10min]
午後	VSCodeの使い方	[40min]
午後	GitHub Copilot基本操作 プチハンズオン5演習	[100min]
午後	理解度テスト	[40min]
午後	振り返りと翌週のテーマ案内	[40min]

合計480minです。上の[10min]は小休憩で、昼食は別枠になります。

3日間のどこにいるか

今日は3日間の1日目です。今日できなかったことは翌週の冒頭で取り返せます。Day2では日本語で頼んで動くものを作る進め方に慣れ、Day3では設備データを整形して分析し、業務改善のミニアプリを作ります。Day間はおおよそ1週間空きます。

使うもの

今日触るのは次の3つだけです。追加のインストールはありません。管理者権限も要りません。

道具	役割
VSCode	文章とコードを書く画面。Copilotはこの中にいます
GitHub Copilot	日本語で相談する相手。VSCodeの右側にチャット欄が開きます
Edge等のブラウザ	作ったファイルを開いて動かす場所。貸与PCに最初から入っています

進め方は「VSCodeで書いて保存し、ブラウザで開く」の一往復だけです。VSCodeでCopilotに相談しながら書き、Ctrl+Sで保存し、保存したファイルをダブルクリックするとブラウザが立ち上がって動きます。今日使う拡張子は .md と .html の2つだけです。

配布ZIPの展開先

配布ZIPを右クリックして「すべて展開」を選び、展開先にデスクトップを指定してください。展開してできるフォルダの名前は 機電系_Day1_配布 のままにしてください。名前を変えると、資料に出てくるフォルダ名と一致しくなります。

ZIPを展開せずに中身をそのまま開くこともできますが、その状態ではファイルを保存できません。展開の作業を必ず先に済ませてください。フォルダ名の末尾に (1) や (2) が付いた場合は二重に展開されています。中の階層をたどって、01_サンプル_点検記録.md が直下にあるフォルダを使ってください。

配布フォルダの中身

ファイル名	役割
01_サンプル_点検記録.md	設備点検の記録を模した架空のサンプル。演習2と演習3の材料に使います
02_理解度テスト.html	午後の理解度テスト。全15問の四択で、資料を見ながら回答できます
03_完成見本_入力フォーム.html	演習5で作る画面の見本。演習中は開かず、まずご自身で作ってみてください
README.txt	展開手順と取り扱いのお願いを書いたファイルです

演習の中でご自身が作るファイル

次のファイルは配布物に入っていないです。演習の中で作って、機電系_Day1_配布 フォルダの中に保存するものです。最初から無くて正常です。

ファイル名	作る場面	必須か
メモ_午後.md	VSCodeのファイル操作の練習	作ります
メモ_演習1.md ～ メモ_演習4.md	各演習で気に入った回答を残す場合	任意

ファイル名	作る場面	必須か
05_入力フォーム.html	演習5でCopilotに作ってもらった画面	作ります

セットアップ作業

どんな場面か

今日の午後の5つの演習も、翌週のDay2も、ここで作る環境をそのまま使います。ここで止まったまま午後に入ると、演習が1つも動きません。この作業だけは飛ばさずに進めてください。

やること

1. スタートメニューから VSCode を起動します。すでに開いている方はそのまま構いません。どこにあるか分からないときは、スタートメニューで vs と打つと候補に出ます。
2. ブラウザで github.com を開き、会社のメールアドレスで新規アカウントを作成します。GitHubは開発の現場で広く使われている場所で、Copilotはこのアカウントで使えるようになります。決めたユーザー名は手元にメモしてください。Day2でも使います。
3. 講師がこの場からCopilotの招待メールを送ります。招待には有効期限があるため、事前ではなく当日この場での送信になります。メール内のリンクを開いて承認してください。
4. VSCodeに戻り、左下のアカウントアイコンから GitHub にサインインします。ブラウザが立ち上がってVSCodeへのアクセスを許可するか尋ねる画面が出るので、承認を押します。

会社のメールアドレスで作成してください。個人のアドレスで作ると招待が届きません。すでに個人のGitHubアカウントをお持ちの方も、会社アドレスで新規に作るのが確実です。

できあがるもの

提出するファイルはありません。GitHubユーザー名のメモと、VSCodeの左下にそのユーザー名が表示された状態が成果です。

できたかの確認

- VSCodeの左下に、自分で作ったGitHubユーザー名が表示されている
- 右上のCopilotアイコンに斜線が入っていない。斜線は未サインインか未承認の印です
- GitHubユーザー名を手元にメモしてある
- 配布ZIPをデスクトップに展開し、フォルダ名が 機電系_Day1_配布 のままになっている

上の2か所が当てはまった方は手を挙げてください。1人ずつ画面を見て回るより早く全員が揃います。

うまくいかないとき

症状	戻し方
確認メールが届かない	迷惑メールフォルダを見ます。5分待って来なければ手を挙げてください
サインインのブラウザが開いたまま戻らない	VSCodeを一度閉じて開き直すと、サインイン済みになっていることがあります
Copilotアイコンに斜線が入ったまま	招待の承認がまだです。メールのリンクをもう一度開いてください
二要素認証の設定を求められた	認証アプリかSMSでの受信を選びます。会社端末で認証アプリが使えない方は手を挙げてください

時間が余ったら

- 配布ZIPの展開までここで済ませてください
- それも終わったら、隣の方が1から4のどこで止まっているかを一緒に見てあげてください

疎通確認

どんな場面か

環境が壊れたまま午後に入ると、5つの演習が全部止まります。ここで返事が返ることだけ確かめておけば、午後は中身に集中できます。返ってきた内容が正しいかどうかは、ここでは気にしません。

やること

1. 右上のCopilotアイコンを押して、画面右側にチャット欄を開きます。吹き出しの形をしたアイコンです。見つからないときは、メニューの表示から Copilot Chat を探してください。
2. 下の入力欄をクリックして、次のどちらかの文をそのまま日本語で入力します。

こんにちは。あなたは何かができますか。日本語で3行で教えてください。

設備の点検報告書を書くとき、あなたに手伝ってもらえることを3つ挙げてください。

3. Enter を押して送信します。文の途中で改行したいときは Shift+Enter です。
4. 数秒待って、パネルに日本語の文章が出てくることを確認します。

できあがるもの

成果物はありません。チャット欄に日本語の返事が表示されていれば達成です。保存も不要です。

できたかの確認

- チャット欄に日本語の文章が返ってきた

- 返事が途中で止まらず、最後まで表示された

うまくいかないとき

症状	戻し方
パネルは開くが返事が来ない	社内ネットワークの制限の可能性があります。手を挙げてください、講師側で記録します
英語で返ってきた	文末に「日本語で答えてください」と足して、もう一度送ってください
エラー表示が出る	サインインが切れています。左下のアカウントから入り直してください
アイコンを押してもパネルが開かない	VSCodeを一度閉じて開き直します
画面が英語のまま	操作に支障はありません。日本語化は午後のVSCodeの章で扱います

ここで解決しなくても、午前の後半と午後の座学は受けられます。今日中に直らなくても翌週までに個別に対応しますので、焦らないでください。

時間が余ったら

- 続けて「もっと短く3行で」と頼んでみてください。会話が続くことを先に体験しておく、午後の演習が速くなります
- 配布フォルダの 01_サンプル_点検記録.md を開いて、点検項目と困っていることの欄をざっと見ておいてください

座学の中で自分で考える場面

手を止めて聞く時間の中に、ご自身で考えていただく場面が3つあります。答えは回収しません。

自分の現場との距離

国内での使われ方として、設備の日常点検、設備マニュアルの参照、不具合連絡の整理の3つを扱います。この3つのうち、ご自身の仕事に一番近いのはどれかを30秒だけ考えてください。午後の演習で、その場面を思い浮かべながら手を動かしていただきます。

理解度チェック 1

生成AIの説明として、正しいものはどれですか。

- A. インターネットを検索して、見つけた文章をそのまま返している
- B. 質問の意味を理解したうえで、正解を計算して答えている
- C. 次に来そうな言葉を確率で選び続けて、文章を作っている
- D. あらかじめ用意された回答集から、近いものを探して返している

自分で選んでから読んでください。正解はCです。次に来そうな言葉に確率を付けて、高いものを選んで1語ずつ足しています。意味の理解も正誤の判定もしていません。Aは検索の説明で、生成AIはあるものを探すのではなくその場で文を作るため出どころのURLが残りません。Bは正解を計算しているわけではなく、それらしい続きを選んでいるだけなので、間違いも同じ口調で返ってきます。Dは決まった回答集を持っていないため、同じ質問でも毎回違う文が返るのはその場で作り直しているからです。

理解度チェック2

客先の装置について相談したいとき、適切な書き方はどれですか。

- A. 客先名と型番を書き、測定ログのファイルを貼って相談する
- B. 自動車部品の製造装置で温度が想定より高い場合、確認すべき点を相談する
- C. 客先名は伏せたうえで、図面のスクリーンショットを貼って相談する
- D. 相談内容を短くするため、実際の測定値をそのまま貼って相談する

自分で選んでから読んでください。正解はBです。業界と工程のレベルまで丸められており、客先名も実データも具体値も含まれていません。それでも装置の種類と症状は残っているので、確認すべき点は返ってきます。Aは型番も測定ログも固有情報で、機密ルールの1番と2番の両方に当たります。Cは図面そのものが機密なので、名前を伏せても解決しません。構造は文章で説明します。Dは数値を具体値のまま出しているため、短くしたいなら項目名だけにします。

判断が割れるケース

どんな場面か

相談文を書くたびに「これは出しているのか」で手が止まります。判断が割れやすい3つを先に潰しておく、このあとの演習とDay2で毎回悩まずに済みます。正解を当てる時間ではなく、ご自身の判断の癖を見つける時間です。提出も発表ありません。

やること

1. 手元のメモか配布資料の余白に、1・2・3と縦に番号を書いてください。
2. ケース1「客先名を伏せて、ある自動車部品メーカーの、と書いて相談する」を、○（出してよい）△（条件つき）×（出さない）のどれかで判定して書いてください。
3. ケース2「測定値をすべて10倍にして、桁を変えたデータを貼って相談する」を同じように判定してください。
4. ケース3「社内の点検記録の様式を、中身を空欄にしてから貼って相談する」を同じように判定してください。
5. 3つ書き終えたら、そう判断した理由を各1行だけ添えてください。機密ルールの何番に当たるか、でも構いません。

できあがるもの

提出はありません。手元のメモに3つの判定と理由が書けていれば達成です。回収も発表もしません。

できたかの確認

3つとも○△×のどれかを自分で選び、理由を1行書いていれば達成です。判定そのものより、理由が書けているかを見てください。

自分で判定してから読んでください。1は△、2は×、3は×です。ケース1が△なのは、社名が推定できる書き方なら不可だからです。国内で数社しかない業種名を書くと社名が推定できます。自動車部品、産業機械のように、対象が十分に広い言い方がどうかで判断してください。ケース2が×なのは、10倍にしても値どうしの比率と変化の傾向はそのまま残るからです。桁を変えても具体値を出したのと同じです。ケース3が×なのは、様式そのものが社外秘のことがあるからです。

うまくいかないとき

症状	戻し方
3つとも×にした	全部×にすると相談自体ができません。1は丸め方しだいで出せます。どこまで丸めれば出せるかを考え直してください
ケース1の△の条件が書けない	業界名をどこまで広げれば社名が推定できなくなるか、という観点で書いてみてください
理由が思いつかない	機密ルールの何番に当たるかだけ番号で書いてください。それで達成です

時間が余ったら

- ご自身の担当業務で、判断が割れそうなケースを1つ書き出してください。Day2の業務テーマ言語化でそのまま使えます
- ケース1を、社名が推定できない書き方に自分で直してみてください

手を動かす前に押さえること

演習に入る前に、この節の内容を手元に置いておくと戻りやすくなります。

VSCodeの画面の呼び名

名前	場所と役割
アクティビティバー	左端の縦一列。書類が重なったアイコンを押すとファイル一覧が出ます
エクスプローラー	開いているフォルダの中のファイル一覧。クリックすると右に開きます
エディタ	文章やコードを書く場所。タブで複数開けて、×で閉じます
チャットパネル	Copilotに日本語で相談する場所。画面の右側に開きます
ステータスバー	下端の細い帯。左下にサインイン中のアカウントが出ます

今日使うファイル操作

やること	操作
フォルダを開く	メニューの ファイル から フォルダーを開く を選び、デスクトップの 機電系_Day1_配布 を選びます
ファイルを開く	エクスプローラーに並んだファイル名をクリックします。ダブルクリックは要りません
新しいファイルを作る	Ctrl+N を押すと空のタブが開きます。名前も置き場所もまだ決まっていない状態です
名前を付けて保存する	Ctrl+S を押し、ファイル名を拡張子まで入力して保存先を選びます

フォルダを開いておかないと、左にファイル一覧が出ません。ファイルだけを1つ開いた状態では、同じフォルダの他のファイルに移れず、保存するときも置き場所を毎回探すことになります。タブのファイル名の横に丸印が出ていたら、まだ保存されていません。Ctrl+S を押すと丸印が消えます。

覚えておくショートカット

やりたいこと	操作	使う場面
文字を大きくする	Ctrl+Shift+=	画面の文字が小さいとき。小さく戻すのは Ctrl+-
元に戻す	Ctrl+Z	貼り付けや削除を間違えたとき。続けて押せばさらに戻ります
やり直す	Ctrl+Y	戻しすぎたとき
ファイルの中を探す	Ctrl+F	開いているファイルから語を探すとき

画面を日本語にしたい場合は、左端の四角が4つ並んだアイコンから Japanese Language Pack を追加し、VSCodeを再起動します。ただし社内から配布元のサイトに接続できる場合だけ追加できます。接続の可否は貴社の環境設定によります（要確認）。追加できなくても、今日の内容は英語表記のまま進められます。

頼み方の最低限

対象・読み手・形の3つを足すだけで、返ってくるものが変わります。「点検報告書を書いて」だけでは、どの設備の、誰が読む、どのくらいの長さの報告書かわかりません。返ってくるのは教科書に載っているような一般的な書式の説明で、そのままでは使えません。

<対象>を、<読み手>向けに、<形・字数・パターン数>で作ってください。

客先の話を相談するときの5行の型

固有情報を落としても、相談の中身は落ちません。1行目で対象、2行目で症状、3行目で頼みたいこと、4行目で読み手と分量、5行目で出せない情報を先に断ります。この型は業務のどの相談にも流用できます。

自動車部品の搬送装置について相談します。
駆動モーターの温度が、想定より高い状態が続いています。
設計と保全の両面から、確認すべき点を挙げてください。
読み手は同じ部署の技術者です。箇条書きで6項目以内、各項目40字以内でお願いします。
客先名と型番は出せないで、一般的な範囲で答えてください。

5行目を入れておくと、AI側から「型番を教えてください」と聞き返される回数が減ります。

モデルの切り替え

チャット欄の入力ボックスの下にドロップダウンがあり、押すと選べるAIの名前が一覧で出ます。今日は既定のまま進めます。今日の5演習はどれを選んでも結果が大きく変わりませんので、触ってしまってもそのまま進めて支障ありません。選択できるモデルの一覧は当日の画面でご確認ください（要確認）。

ファイル操作の練習

どんな場面か

このあとの演習3では配布ファイルをCopilotに読ませ、演習5では作ってもらった画面をファイルに保存します。どちらもフォルダを開くところから始まります。本番でここが詰まると先へ進めないなので、成果物のない安全な形で先に一度通しておきます。

やること

1. 上のメニューの ファイル から フォルダーを開く を選び、デスクトップに展開した 機電系_Day1_配布 フォルダを選んでください。
2. 左のエクスプローラーに並んだ 01_サンプル_点検記録.md をクリックして開いてください。右側に中身が出ます。
3. Ctrl+N を押して新しいタブを開き、自分の名前と今日の日付を1行だけ打ってください。凝った内容にする必要はありません。
4. Ctrl+S を押し、ファイル名に メモ_午後.md と入力して、いま開いている 機電系_Day1_配布 フォルダの中に保存してください。
5. タブの丸印が消えたことと、左のエクスプローラーに メモ_午後.md が増えたことを確認してください。
6. 最後に右上のCopilotアイコンを押してチャット欄を開き、もう一度同じアイコンを押して閉じてください。次の章の最初で使います。

できあがるもの

メモ_午後.md を、デスクトップの 機電系_Day1_配布 フォルダの中に保存します。中身は1行で構いません。提出はありません。

できたかの確認

- 左のエクスプローラーに、01_サンプル_点検記録.md と メモ_午後.md の2つが見えている
- メモ_午後.md のタブに丸印が付いていない
- 01_サンプル_点検記録.md を開くと、点検項目の一覧が右側に読める

- 右上のCopilotアイコンで、チャット欄を開いて閉じる操作ができています

うまくいかないとき

症状	戻し方
配布フォルダが見つからない	ZIPを展開していない可能性があります。ZIPを右クリックし、すべて展開を選んでからやり直してください
保存先がドキュメントやダウンロードになる	保存の画面の上部が 機電系_Day1_配布 になっているかを見て、違っていれば左の一覧から選び直します
ファイル名に .md を付け忘れた	エクスプローラーでそのファイルを右クリックし、名前の変更 で .md を足してください
左に一覧が出てこない	左端のいちばん上、書類が重なったアイコンを1回押してください
保存の画面が英語で出る	Save as と出ていれば同じ画面です。ファイル名の欄に打って Save を押します

時間が余ったら

- メモ_午後.md に、午前の内容で覚えておきたいことを3行足して、もう一度 Ctrl+S で上書き保存してください。2回目の保存では名前を聞かれないことが確認できます
- エディタのタブを×で閉じてから、エクスプローラーの メモ_午後.md をもう一度クリックして開き直してください。閉じてもファイルは消えないことが分かります

演習の並びと進め方

ここからの[100min]で5つの演習を回します。できることを1段ずつ積み上げて、最後に動くものまで到達する並びです。

演習	やること	位置づけ
演習1	日本語で頼む	チャット欄に質問を打って、文章が返ってくることを確かめます
演習2	下書きを直す	既にある文章を貼って書き直してもらいます。今日から業務で使えるのはここです
演習3	ファイルを見せる	開いているファイルの中身を材料にして質問します
演習4	会話を寄せる	返ってきたものに注文を足して意図に近づけます。演習3の続きです
演習5	動くものを作る	HTMLファイルを保存し、ブラウザで開いて動かします。今日の山です

演習1・2・3・5は単独で試せます。演習4だけは演習3の続きなので、演習3が動かなかった方は演習1の回答を起点にしてください。

Copilotは別のアプリではなく、書いている画面の右側にいます。ブラウザで使うチャット型のAIに渡せるのは自分がコピーして貼り付けた文字だけですが、VSCodeの中のCopilotは、いま開いているファイルの中身をそのまま材料にでき

ます。書く場所と相談する場所が同じ画面にあるので、切り替えが発生しません。

同じチャットの中で続けて打つと、前のやりとりを踏まえた返事が返ります。上部の+を押すと新しいチャットになり、前の話は引き継がれません。演習の途中では押さないでください。

演習1 日本語で質問

どんな場面か

点検報告書や作業連絡の書き出しで手が止まる場面は、月に何度もあります。白紙から考える代わりに、たたき台を3つ出させて選ぶ。この使い方が、今日いちばん早く業務に持ち帰れます。

やること

1. 右上のCopilotアイコンを押して、右側のチャット欄を開きます。
2. 入力ボックスをクリックして、次の一文をそのまま入力します。

月次の設備点検報告書の書き出しを、上長向けに、200字以内で3パターン考えてください。

3. Enterを押して送信します。数秒から十数秒で文章が返ってきます。
4. 返ってきた3つを読んで、手直しすれば使えるようなものが1つあるかを判断します。
5. 気に入った回答があれば、その部分を選択してコピーし、Ctrl+N で新しいファイルを開いて貼り付け、Ctrl+S でメモ_演習1.md という名前で 機電系_Day1_配布 フォルダに保存します。

ご自身の業務に置き換えられる方は、対象の部分だけ書き換えてください。書き換え例は次のとおりです。客先名・製品名・プロジェクト名は入れません。

設備の異音に関する調査依頼の文面を、他部署の担当者向けに、150字以内で2パターン考えてください。

できあがるもの

メモ_演習1.md（機電系_Day1_配布 フォルダの直下）。保存まで進まなくても、3パターンが画面に出ていれば達成です。

できたかの確認

- 書き出しの候補が3つ返ってきている
- 3つのうち1つは、手直しすれば自分の報告書に使えると自分で言える
- 客先名・製品名・プロジェクト名を1つも入れずに質問できている

うまくいかないとき

症状	戻し方
一般論の説明しか返ってこない	対象・読み手・形の3条件を足して聞き直してください
英語で返ってきた	続けて「日本語をお願いします」と1行送れば日本語に戻ります
Enterを押しても送信されず改行になる	入力欄の右にある送信ボタンを押してください（ボタンの有無は当日の画面で確認します。要確認）
何も返らないまま止まる	左下のアカウントアイコンにGitHubユーザー名が出ているかを見てください。出ていなければサインインが切れています

時間が余ったら

- 同じ質問に「読み手は上長」「200字以内」「箇条書き禁止」の3条件を足して、出力がどう変わるかを見比べてください
- 「もっと固い文体で」「もっとやわらかく」と2通り作らせて、文体の指定がどこまで効くかを確かめてください

演習2 下書きを直す

どんな場面か

現場で書いた走り書きを、そのまま上長や他部署に出せる文体に整える作業です。この手直しに毎回10分から20分かかっている方が多いはずです。ここを渡せるようになると、書く時間そのものが減ります。

やること

1. 左のファイル一覧から 01_サンプル_点検記録.md を開きます。まだフォルダを開いていない方は、ファイル > フォルダを開く からデスクトップの 機電系_Day1_配布 を選んでください。
2. ファイルのいちばん下にある「困っていること」の4行を選択して、Ctrl+C でコピーします。
3. チャット欄に貼り付けて、その下に次の一文を足します。

この4行を、上長への報告書向けの丁寧な文体に書き直してください。書かれている事実は落とさないでください。

4. Enterで送信します。返ってきた文章と元の4行を並べて、消えている項目がないかを目視で確かめます。
5. ご自身の文章で試したい方は、社外に出せる範囲のものに限って差し替えてください。客先名・製品名は入れません。

できあがるもの

メモ_演習2.md（機電系_Day1_配布 フォルダの直下）。保存しなくても、書き直された文章が画面に出ていれば達成です。

できたかの確認

- 元の4行にあった内容が、書き直し後にも全部残っている。紙からExcelへの転記、記入漏れの発見の遅れ、過去の記録の検索、書き方のばらつきの4点です
- 文体が報告書向けに変わっている。走り書きの調子が残っていない
- 書き直し後の文章を、自分の判断で「これなら出せる」と言える

うまくいかないとき

症状	戻し方
項目が1つ消えている	「元の4項目を全部残したまま、もう一度書き直してください」と送れば戻ります
内容が勝手に膨らみ、元を書いていない対策案まで付いてくる	「書かれている内容だけで、付け足さないでください」と条件を足します
コピーがうまくいかない	ファイル上で4行をドラッグして選択し、選択部分が反転していることを確かめてから Ctrl+C を押してください
ファイルが開けない	ファイル > フォルダーを開く でデスクトップの 機電系_Day1_配布 を選ぶところからやり直します

時間が余ったら

- 同じ4行を「社内の口頭連絡向けに30字」と「客先提出の下書きとして丁寧に」の2通りに書き分けさせて、差を見てください
- 残したい専門用語を2つ指定して、その語を使ったまま書き直させてください。用語の指定がどこまで効くかが分かります



株式会社ギブリー（Givery, Inc.） 本資料の二次転載を禁止します。